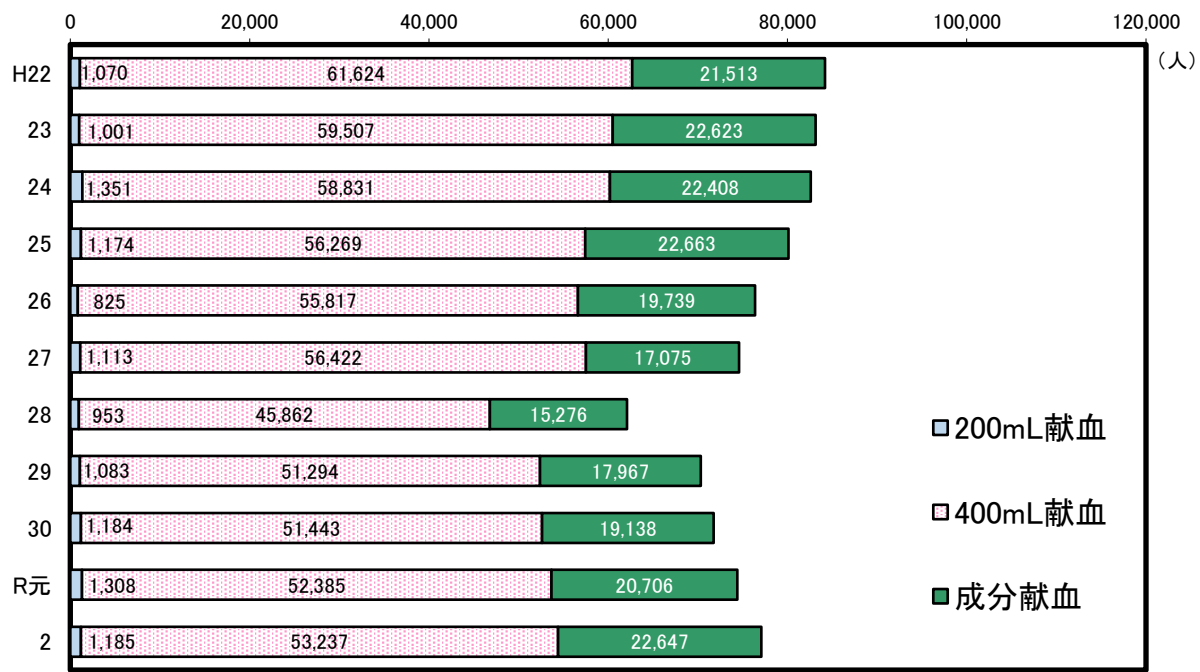


熊本県の種類別献血者数の推移



解 説

【概要】

令和2年度の県民の献血状況は、献血者数が77,069人で、前年度と比較すると2,670人増加した。献血種類別では、200mL献血者が1,185人、400mL献血者が53,237人、成分献血者が22,647人となっており、需要の多い400mL献血者は前年度の52,385人から852人増加した。また、献血率は6.9%であり、全国平均6.0%に比べて高かった。

令和2年度の献血量は、200mL献血量が237.00L、400mL献血量が21,294.80L、成分献血量が12,866.00Lとなった。

- 献血者
日本赤十字社が実施した献血事業に対し、無償で血液の提供を行った者のこと。なお、献血事業は現在全て日本赤十字社によって実施されており、血液センター、採血出張所及び移動採血車によって行われている。
- 献血率
「住民基本台帳人口要覧」及び「国勢調査」に基づく各年の献血可能年齢（16歳～69歳）の人口に占める献血者数の割合。
- 千人当りの献血量
$$\text{献血量} \div (\text{総務省統計局「国勢調査」に基づく令和2年10月1日現在人口} \div 1,000)$$
- 高校生の献血率
$$\text{高校生献血者数} \div \text{献血者数} \times 100$$

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「血液事業年度報」 日本赤十字社	令和2年度	毎年